



平成 15 年 4 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社 フルキャスト  
代 表 者 名 代表取締役社長 平野 岳史  
(コード番号 4848)  
問い合わせ先 執行役員 経営戦略本部長 久保 裕  
電 話 番 号 03 - 3780 - 9500

### 平成 15 年 9 月期 中間 (連結・個別) 業績予想の修正について

平成 15 年 9 月期 (平成 14 年 10 月 1 日 ~ 平成 15 年 9 月 30 日) の業績予想について、平成 14 年 11 月 15 日付当社「平成 14 年 9 月期 決算短信 (連結)」および同日付当社「平成 14 年 9 月期 個別財務諸表の概要」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

#### 記

1. 平成 15 年 9 月期 中間連結業績予想の修正等  
(1) (平成 14 年 10 月 1 日 ~ 平成 15 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売 上 高	経常利益	中間純利益
前回予想 (A)	15,000	1,000	500
今回修正 (B)	18,710	1,290	540
増減額 (B - A)	3,710	290	40
増減率 (%)	24.7%	29.0%	8.0%

- (ご参考) 前期実績との比較

(単位: 百万円)

	売 上 高	経常利益	中間純利益
前期実績 (平成 14 年度中間期)	12,338	814	266
今期予想 (平成 15 年度中間期)	18,710	1,290	540
増減額	6,372	476	274
前期比増減率	51.6%	58.5%	103.0%

- (2) 修正理由

売上高につきましては、当企業グループがアウトソーシングニーズの高まりを的確に捉え、顧客企業に即応したサービス提供に努めた結果、売上高 187 億 10 百万円 (前回予想比較: 37 億 10 百万円増加) となる見込みであります。

経常利益につきましては、業容の拡大に伴い人件費を中心に販売費及び一般管理費が増加いたしました。順調な売上高の増加に支えられ、12 億 90 百万円 (前回予想比較: 2 億 90 百万円増加) となる見込みであります。

中間純利益につきましては、事業提携を目的とした投資有価証券において、不況の長期化による業績の低迷を反映し、評価損 48 百万円などが見込まれることから、5 億 40 百万円（前回予想比較：40 百万円の増加）となる見込みであります。

(3) 通期（平成 14 年 10 月 1 日～平成 15 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想	32,000	2,250	1,100

通期業績予想に関しましては、現在見直しを進めており、修正が必要となる場合は平成 15 年 5 月 12 日に発表を予定しております平成 15 年 9 月期中間決算短信とあわせて発表する予定であります。

(4) ご参考：前期実績（平成 13 年 10 月 1 日～平成 14 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	中間(当期)純利益
中間期（10/1～3/31）	12,338	814	266
通期（10/1～9/30）	26,319	1,484	346

2．平成 15 年 9 月期 中間個別業績予想の修正等

(1)（平成 14 年 10 月 1 日～平成 15 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	中間純利益
前回予想（A）	10,000	800	400
今回修正（B）	11,303	956	417
増減額（B - A）	1,303	156	17
増減率（%）	13.0%	19.5%	4.3%

（ご参考）前期実績との比較

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	中間純利益
前期実績（平成 14 年度中間期）	7,448	672	246
今期予想（平成 15 年度中間期）	11,303	956	417
増減額	3,855	284	171
前期比増減率	51.8%	42.3%	69.5%

(2) 修正理由

厳しい経済環境下、産業界では単なるコスト削減にとどまらず効率的経営のための積極的なアウトソーシングを進める傾向が続いております。これに対し当社では、顧客ニーズを迅速にかつ確に把握するため、拠点展開および営業組織の見直しを随時行うと同時に請負業務の質的向上を進めることにより営業力の強化を図りました。この結果、既存顧客からの業務量が増加し、売上高 113 億 3 百万円（前回予想比較：13 億 3 百万円増加）となる見込みであります。

経常利益につきましては、営業および採用活動の強化に伴う広告宣伝費や固定資産売却に伴う手数料等の一時的な費用が増加いたしましたが、当初計画を上回る増収に支えられ、9 億 56 百万円（前回予想比較：1 億 56 百万円の増加）となる見込みであります。

中間純利益につきましては、投資有価証券評価損などにより特別損失が 70 百万円と発生し 4 億 17 百万円（前回予想比較：17 百万円増加）となる見込みであります。

(3)通期（平成14年10月1日～平成15年9月30日）

（単位：百万円）

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前回予想	20,000	1,600	800

通期業績予想に関しましては、現在見直しを進めており、修正が必要となる場合は平成15年5月12日に発表を予定しております平成15年9月期中間決算短信とあわせて発表する予定であります。

(4)ご参考：前期実績（平成13年10月1日～平成14年9月30日）

（単位：百万円）

	売 上 高	経常利益	中間(当期)純利益
中間期（10/1～3/31）	7,448	672	246
通期（10/1～9/30）	14,814	1,149	246

以 上